

2016展望



大日本コンサルタント

高久 晃社長

グループ経営推進で収益拡大

全体として売り上げを高設の設計が少なくなり、くりを推進する。得意とする長大橋の技術継承の場として海外市場を重視する。東南アジアを中心に受注を増や

10年ぶりに事務所を再開を狙っているが、良い企業は少ない。当面は自前までの人脈を生かし、マで育てるしかない。国内ニラ周辺で民間事業の受の技術者を移し、海外事業部門を強化する。

める。環境事業を専門と老朽化した構造物の更新するトオヤマと共同で新や補修の設計が増えている。受注額は新設・既設場を重視する。東南アジアを中心に受注を増やアを中心にして注目を増や。子会社のあるベトナムは日本の技術を生かせる維持管理マニュアルの社員でつくる「なでしこ」を中心にして注目を増や。海外では同業の買収環境づくりを進める。

建設コンサル

来期に始動する新たな中期経営計画の策定に入った。グループ会社の規模を大きくし、グループ